

普段とは違う視点から見た23区、  
知ればもっと面白い!

# コマなく さんぽ



特別区自治情報・交流センター

## 23区と地方自治の専門図書館 「特別区自治情報・ 交流センター」が 20周年を迎えました

### 特別区自治情報・交流センターの 成り立ち

特別区自治情報・交流センターは、公益財団法人特別区協議会が設置している、23区と地方自治に関する専門図書館です。

協議会は、1947(昭和22)年5月、現憲法施行と同時期に発足して以来、23区の円滑な自治の運営とその発展に寄与するという目的の下、自治権拡充運動の事務局をはじめ、会議の場の提供、特別区制度の調査研究、特別区に関連する資料の収集・提供を行ってきました。

2000(平成12)年の都区制度改革により、23区が「基礎的な地方公共団体」として法に位置付けられ自治権拡充運動が一定の到達点を迎えたこと等を機に、協議会事業の見直しを行い、2005(平成17)年の東京区政会館の飯田橋への移転に合わせてセンターを開設し、2010(平成22)年には公益財団法人の認可を受け、制度改革後の特別区の発展に寄与するべく事業を展開しています。

### 自治を知り考える場として

センターは、23区や都内自治体が発行した冊子、協議会の編纂書籍のほか、23区の変遷を視覚的に捉えられる古地図や歴史的図書、今の行政が抱える課題を把握できる出版物や雑誌など、12万点を超える資料を揃え、閲覧・貸出のほか、協議会ホームページで一部を公開しています。これまで、本紙でも毎号「所蔵資料 蔵出し」で資料の紹介をしてきました。

センターは、今後も着実な資料の収集・所蔵と、これまで蓄積してきた情報資源の管理・保存を継続していくとともに、昨今の社会情勢を捉え、資料のデジタル化を推進していくことで、より多くの方に特別区や自治に関する情報を提供していきます。

日々の生活に密接な自治を知り考える場としてセンターをご活用いただければ幸いです。皆様のご来館をお待ちしています。



### 「大森彌記念文庫」がオープンします

2025(令和7)年秋には、特別区の自治の発展に大きな貢献を果たされた故大森彌東京大学名誉教授の著作等について、ご遺族からの寄贈とセンター所蔵図書を合わせた「大森彌記念文庫」がオープンします。

23区の自治権拡充に関連する貴重な資料として記念文庫をぜひご覧ください。